

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立ての
 ほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2020年4月24日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
0298 5	血中総ホモシステイン 3C070-0000-022-205	血漿 0.3	速やかに遠心 PN2、PN5 (C) ↓ A00 (X)	冷蔵 (21日)	3~5	287 ※5	LC/MS /MS	M 7.0~17.8 (nmol/mL) F 5.3~15.2 (nmol/mL)	採血後、速やかに血漿分離してください。 £ & ¥

※5：生化学的検査(Ⅱ)判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	項目名	受託中止日
2242 8	総ホモシステイン	2020年7月2日(木) ご依頼分をもって受託中止



●血中総ホモシステイン

ホモシスチン尿症の診断補助や動脈硬化性疾患に対するリスク予測マーカーに有用な検査です。

ホモシステインは、メチオニン代謝の中間代謝物として生成されるアミノ酸であり、総ホモシステインとは、タンパク質と結合している結合型ホモシステインとホモシステイン及び他の低分子チオール化合物と結合しているタンパク非結合型ホモシステインの合計をいいます。

先天性アミノ酸代謝異常症の一種であるホモシスチン尿症の診断には、血中メチオニン値や血中総ホモシステイン値などの特殊検査があります。また、血漿中ホモシステイン濃度が著しく高値のホモシスチン尿症患者において動脈硬化、血栓症病変を発症することが報告されて以降に冠動脈疾患、脳血管疾患患者においても健常者と比較し軽度ホモシステイン血症の頻度が高くなることが言われています。

血中総ホモシステイン濃度を測定することは、ホモシスチン尿症の診断補助や動脈硬化性疾患に対するリスク予測マーカーとして有用です。

▼疾患との関連

ホモシスチン尿症
動脈硬化性疾患

▼関連する主な検査項目

アミノ酸分析（39種類）〔LC/MS〕
アミノ酸分析（41種類）

▼検査要項

検査項目名	血中総ホモシステイン
項目コードNo.	0298 5
検体量	血漿 0.3 mL
容器	PN2、PN5 (C) →A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~5 日
検査方法	LC/MS/MS
基準値	M 7.0~17.8 (nmol/mL) F 5.3~15.2 (nmol/mL)
検査実施料	287点 (「DO10」特殊分析「4-イ」)
判断料	144点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	採血後、速やかに血漿分離してください。 £ & ¥

●参考文献

Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83~89, 2011.

(検査方法参考文献)

橋本 隆男, 他 : YAKUGAKU ZASSHI 127 (10) : 1579~1592, 2007.

(臨床的意義参考文献)